

私国立中学受験で使える
参考書・問題集
15選



予習シリーズ

出版社: 四谷大塚出版

メインテキスト



【4年生 上・下】

1教科 各1,980円(税込)

【5年生 上・下】

1教科 各2,200円(税込)

【6年生上】

1教科 各2,200円(税込)

【6年生下】

難関校対策・有名校对策

1教科 各2,200円(税込)

偏差値55～70の方向け

四谷大塚は60年ほど前からある、老舗の塾です。直営校、YTのフランチャイズ校を合わせると、日本で一番利用されているテキストです。

このテキストを使うメリットは、カラーで見やすい、内容を選ぶことにより偏差値40～70くらいまで幅広く対応できることがあります。また、カリキュラムも一般公開されているため、その流れに沿ってやっていけば通塾している子と同じ内容・進度で進められます。

使用塾が多いので、同じテキストの塾の間で塾の切り替えがしやすいのもメリットです。通信教育(動画受講)、通塾なども選べます。早稲田アカデミーも、このテキストを使っています。

2年ほど前からカリキュラムが変わり、進度が速くなりました。算数は4年上下、5年上下で全ての単元を網羅します。

四谷大塚ドットコム→「教材の購入」

より詳しい情報はこちら。

https://www.yotsuyaotsuka.com/kyozai/pdf/original_sp.pdf

※サンプルをWEBでダウンロードできます

中学受験新演習

メインテキスト

出版社:エデュケーショナルネットワーク

金額:3,520~3,960円

※しゅともしCLUB記載の価格



偏差値40~60の方向け

栄光ゼミナールの出版部門が作っているテキストで、栄光ゼミナールで主に使われています。予習シリーズより易しい問題が多く、解説が丁寧だと言われています。ただ、国語・算数は紙面が白黒なので興味をひかれない子もいるかもしれません。

最初から、偏差値60以上の学校は目指さないと決めているお子さんは、こちらのテキストを丁寧に進めた方が挫折しにくいかもしれません。

対応した模試にアタックテストというものがありますが、これは模試を採用している塾生しか受けることができません。

※塾を通して買った方が安いです

※サンプルをWEBでダウンロードできます

公立中高一貫校適性検査 対策問題集【2022年度版】 (公立中高一貫校入試 シリーズ)

出版社:東京学参
金額:1,430円(税込)

メインテキスト



公立中高一貫校を受験する方向け

数少ない、公立中高一貫校対策の市販のテキストの一つです。
東京学参という、過去問の老舗出版社が作成しています。

総合編から始めて、文系内容・理系内容とバランスよく学習していくと良いでしょう。

予習シリーズの サブテキスト

出版社：四谷大塚出版

サブテキスト

予習シリーズ
計算 4年(上)・(下)



各880円(税込)

予習シリーズ
漢字とことば 4年(上)・(下)



各1,980円(税込)

予習シリーズ
演習問題集 4年(上)・(下)



算数・国語・理科・社会 各1,540円(税込)

予習シリーズの内容を補助する問題集です。漢字とことば、計算は用意して並行して進めた方が良いでしょう。

演習シリーズの算数・国語は、予習シリーズ該当回の類題が載っています。理科社会は、テキストのまとめと問題になっている。

その他、4科のまとめという教材も俊逸です。偏差値60前後の学校を目指すなら6年夏休みに、偏差値70レベルの学校を目指す場合は6年の春休みに始めましょう。

6年生用になると、「予習シリーズ実力完成問題集」「応用力完成問題集」「基礎力完成問題集」なども選択できます。

※サンプルをWEBでダウンロードできます

新演習のサブテキスト (実力アップ問題集)

サブテキスト

出版社:エデュケーショナルネットワーク

金額:3,190~3,300円※しゅともしCLUB記載の価格



中学受験新演習と並行して、漢字日記・計算日記に取り組みましょう。
6年生の夏には、コンプリーションを使って4教科の総まとめを行うと
良いです。

予習シリーズ系のものより少ない分量で、基礎を固めることができます。

※サンプルをWEBでダウンロードできます

下剋上算数シリーズ

サブテキスト

出版社:産経新聞出版

金額:2,000円/2,500円(税込)



中学受験テキスト 下剋上算数 基礎編——偏差値40から55への道

下剋上算数 難関校受験編 ——偏差値50から70への道

中卒のお父さんと娘が、塾を使わずに中学受験に挑み、難関中合格を果たす『下剋上受験』の著者櫻井さんによる問題集。

シンプルな解法で理解し、実践的な問題を易しいものから難しいものまで解かせていくことで、本番で使える力を身につけるのに向いている。

一通りの単元を学習し終わった6年生向け。

中学受験 すらすら解ける 魔法ワザ

サブテキスト

出版社:実務教育出版
金額:各1,980円(税込)

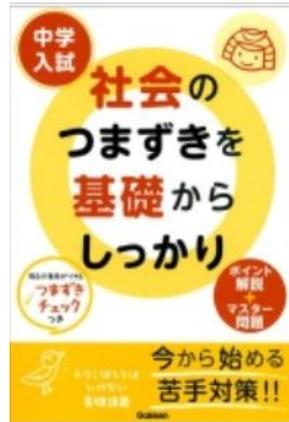
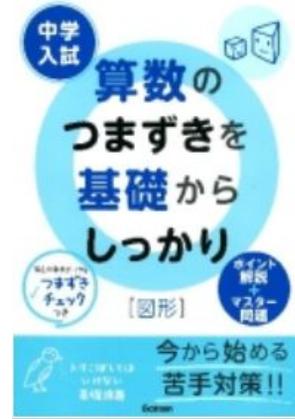


指導歴35年以上のプロ家庭教師西村則康さん監修のシリーズ。
模試や入試で得点したい問題を集めており、なぜそうなるかから書いてあって、説明が分かりやすいと好評。

つまずきを基礎から しっかり

サブテキスト

出版社: 学研教育出版
金額: 各990円(税込)



その教科が苦手で、偏差値が30～45しか取れないお子さん向け。解き方のプロセスが段階を追って丁寧に書いてあるので、理解しやすい。

特に、算数の文章題を図式化することができず、偏差値50を超えられない子には”図で解く文章題実践ドリル”がオススメ。

論理エンジン

出版社:水王舎

金額:1,430円(税込)

サブテキスト

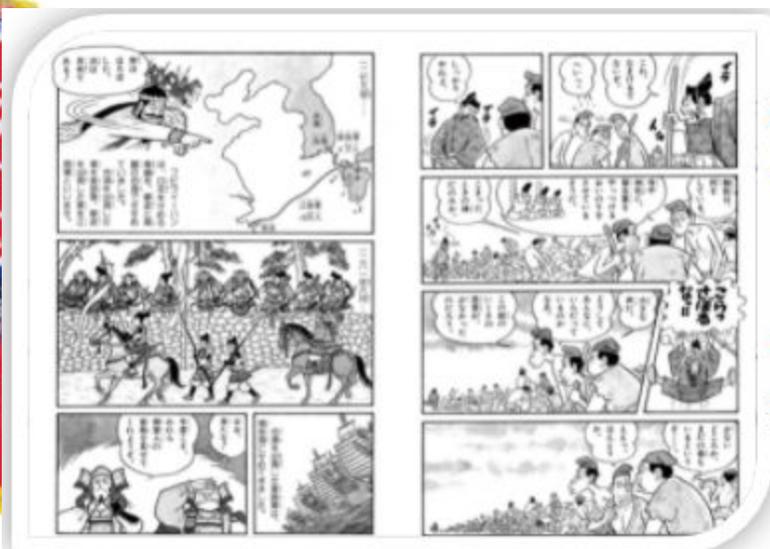


名名文を読みながら、文章を論理的にとらえる方法を学びます。

出口先生の小・中学生問題集は複数種類ありますが、「子どもが一人で進められて」「**どんな使い方をしてもある程度成果が出る**」のがこの緑色のシリーズです。

小1～小6の計6冊出版されています。
書いてある当該学年のお子さんがやると、少し難しいと感じるかもしれません。そういう時は、学年を下げて、本人が一人でスラスラできるところから始めましょう。

より”論理”的な考え方を学び、他教科の理解度も上げたい方には、出口汪先生の『論理国語』シリーズもオススメです。



ただ人物の名前や流れがわかるだけでなく、丁寧な時代考証を経て描かれた漫画は、当時の人々の生活の様子などもイメージすることができ、なぜその出来事が起きたのかなども含め、歴史事項をより深く理解する助けになります。

難関校に合格する生徒は、歴史漫画を7周ほど読んでいるとも言われます。中には、大学受験の日本史まで使えるという詳しい漫画もあります。お子さんによっては絵の好みなどがあるので、そういう子は、一緒に本屋さんで手にとって見て決められると良いでしょう。

小学館(913円/冊 別巻836円/冊 セット価格21,753円)

KADOKAWA(880円/冊 セット価格16,720)

講談社(935円/冊 セット価格18,700円)

集英社(1,100円/冊 セット価格19,800円)

学研マンガ(1,045円/冊 別巻1,760円/冊 セット価格13,200円)

中学入試まんが攻略BON!

漫画

出版社:学研プラス

金額:1,110円(税込)



漫画で中学受験の4教科が学べます。教科書やテキストを読んでいるだけではイメージが付きにくいお子さん、漫画が好きで漫画なら読めるというお子さんには、まずこちらの漫画でざっと内容を理解しておくことがおすすめです。

塾の予習としても使えます。

自由自在

参考書として

出版社:学研プラス

金額:各3,080円(税込)



自由自在は、小学校で学習する内容を網羅した、カラーの参考書兼問題集です。

応用自在は、中学入試に必要な内容が網羅された参考書兼問題集です。

これらをメインにして中学受験の学習を進めることも可能ですが、300ページ以上と分厚いので、わからない問題があったときの参考書として使われる方が使い勝手が良いでしょう。



出版社: 声の教育社
金額: 2,860円(税込)



出版社: 東京学参
金額: 2,860円(税込)

大本命については10年分(10回分)以上取り組みたい。市販のものは5年分などしか入っていないケースが多いので、そういう場合は、さらに古いものを中古か何かで手に入れる。

取り組む時期は、一通りの学習が終わってから、基礎的な土台が身につくまでから。たいていの場合は6年生の9月以降に始める。

声の教育社、英俊社のものが解説が詳しい。出版社によっては、国語の素材文が省略されているケースもあるので、確認してから購入すると良い。

ベストチェック/ メモリーチェック

受験直前期

出版社:みくに出版

金額:国語1,100円/算数・理科・社会990円(税込)



日能研の出版部門が出している問題集。一通り学習が終わった子が、基礎～標準レベルの基礎事項の確認をしたい時に使える。
6年生の夏、もしくは秋以降に使いたい。
解説も簡単に載っているので、読みながら進められる。

出る順カード

出版社:旺文社

金額:1,320円(税込)

受験直前期



残された時間が少なく、効率良く基礎の部分を頭に入りたい、定着させたい方にオススメ。

算数・国語・理科・社会の4教科がカードになっている。カードタイプなので、覚えたものを外していき、苦手なものを何回も集中的に取り組むことができる。